

1 第2期アクションプラン（県南圏域地域振興プラン）の概要

(1) 基本的考え方

令和8年度は「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプラン（令和5年度～令和8年度）の最終年度となる。

アクションプランのうち、地域振興プランは、各広域振興圏において重点的・優先的に取り組む施策やその具体的な推進方針を示しており、プランの推進に当たっては、政策推進プランに掲げる10の政策分野や、復興推進プランの施策等と連携を図りながら、圏域の振興に取り組んでいる。

第2期地域振興プランにおいては、第2期政策推進プランに人口減少対策として掲げた4つの重点事項に関連した具体的な施策を盛り込み、展開を図っている。

県南広域振興局においても、重点事項を踏まえつつ、関係市町や地域協働懇談会等の地域の意見を反映させながら、目指す将来像に向かって取組を進めているところ。

(2) 振興施策の基本方向及び重点事項

将来像

人とのつながり、県南圏域の産業集積や農林業、多様な地域資源を生かしながら、暮らしと産業が調和し、世界に向け岩手の未来を切り拓く地域

基本方向

- I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域
- II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域
- III 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域
- IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域

重点事項

自然減・社会減対策

性別にかかわらず誰もが活躍できる環境づくりを進めながら、結婚・子育てなどライフステージに応じた支援や移住・定住施策を強化します。

GX

G X（グリーン・トランスフォーメーション）を推進し、カーボンニュートラルと持続可能な新しい成長を目指します。

DX

D X（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、デジタル社会における県民の暮らしの向上と産業振興を図ります。

安全・安心

災害や新興感染症など様々なリスクに対応できる安全・安心な地域づくりを推進します。

2 令和8年度の重点的取組（案）の概要

現状

- 県南地域から仙台圏への転出が顕著
- ものづくり誘致企業が立地し、転勤者が居住
- 県外からの移住者・転勤者等に対するサポートが不足
- 未婚・晩婚化の進行
- 県内ものづくり産業が管内に集中
- 生産性向上に向けたD X推進の取組が限定的

課題

- 仙台圏とのつながり強化と関係性の継続
- 移住・転勤者とのコミュニティ不足の解消
- 市町と連携した広域的な移住者受入態勢の整備
- 出会いの場の創出、結婚支援ニーズの掘り起こし
- 地域産業の収益性の向上
- ものづくり産業のD X推進、スマート農業の普及

※ ㊦：広域振興事業

人口減少対策

社会減

移住関心層

- 仙台圏の大学生を対象とした地域課題解決型ワークショップやSlackを活用した交流
- プロボノ(※)活動の実践を推奨する場の提供
- ※スキルを活かした社会貢献
- 市町と連携し県南地域の魅力発信をする仙台圏でのU・Iターン促進セミナー ㊦

- 就農希望者を呼び込むための勉強会

移住者

- 移住者・転勤者等を対象とした交流会 ㊦
- 新規就農者への就農支援システムによる支援、Web等による情報発信強化

流入促進

流出抑制・回帰促進

児童・生徒

- 高校生等への職業意識・地元志向醸成セミナー、企業情報ガイダンス
- 「いわて県南広域企業ガイド」等による情報発信 ㊦

- 学生を対象とした医療・ものづくり関係の職業紹介・企業見学・出前授業
- 小中学生を対象とした建設業の体験学習

就業者・企業

- 企業と学校の交流支援、人材確保促進のための勉強会
- 林業若手職員のスキルアップ支援や研修会

自然減

- 「地域資源」を活用した新たな出会いの場の創出

- 市町と結婚支援団体との連携強化

- 若者や女性に魅力的な職場づくりに向けた勉強会等

交流人口拡大

- 「平泉の文化遺産」世界遺産登録15周年

- 県政150周年（県南広域振興局設立20周年）

- 日本農業遺産を活用した学校との連携及び学生との交流等

D X 推進

- 実践的D X導入支援、D X推進人材の育成支援、D X導入意識啓発支援によるものづくり産業のD X推進 ㊦

- 環境モニタリング機器を活用したデータ駆動型農業の普及・定着、人材育成による農業のD X推進 ㊦

人口減少（社会減）対策

○これまでの取組成果

- ・地域の強みを生かした移住セミナーや交流会等を実施
- ・仙台圏を対象としてセミナー等を通じて、仙台圏の若年層との関係人口が拡大

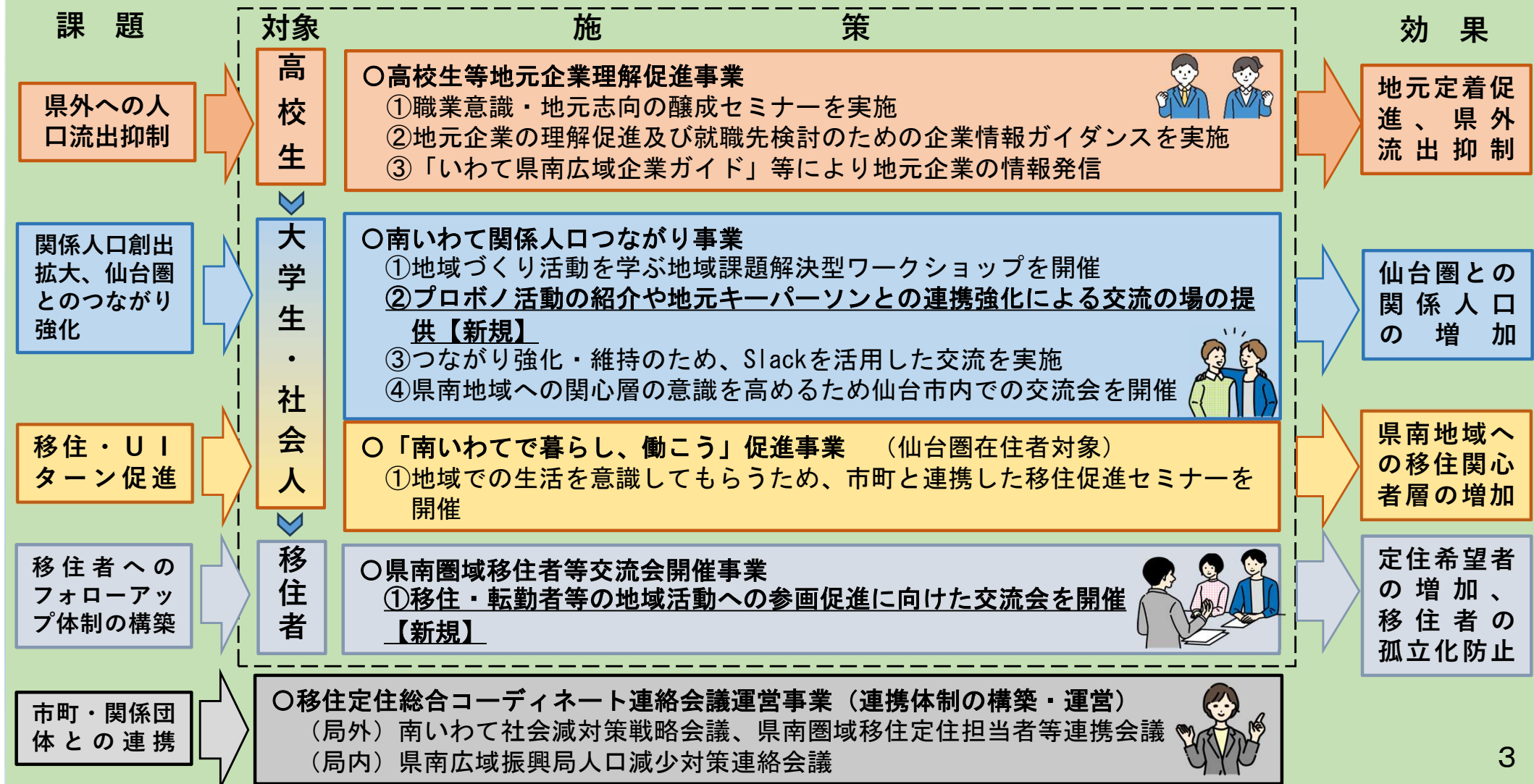
○取組課題

- ・県南地域に多い転勤者へのアプローチが必要
- ・創出した関係人口が地域との関係性を深める取組が必要
- ・県南地域への関心度合い及び高校、大学等対象者別に整理し取り組む必要

県南地域への
つながり強化
移住定住につ
なげる

県南地域移住定住・つながり強化事業【組換新規】

関係人口及び移住定住人口の拡大のため、管内市町と連携し地域課題解決型ワークショップや交流会を開催するほか、地元高校生へのキャリア教育や移住者等交流会等により、関係人口創出・拡大と移住定住推進が一体となった取組を実施する。



北上川流域産業DX推進事業【継続】

県南地域の各産業の生産性向上のため、セミナーや研修会を実施し、収益性の高い地域産業の実現に向けたさらなる推進を図る。

(1)ものづくり産業のDX加速化推進

現状

○生産状況の管理から日々の売上等をリアルタイムで確認できるような部門ごとの生産性向上の取組を支援
→更なるDX推進加速化のためには企業全体への取組の波及が必要



R8

○企業全体の生産性向上や地域内他企業への波及拡大に向けた継続的な支援

【具体的な事業内容】

- ①DX導入の初期段階においては、経営層のDXの重要性の認識や意識変容が必要であることから、経営層向けDX導入意識啓発支援を実施
- ②企業ではDXを自社で推進していくための社内人材の育成が必要であることから、必要なスキル等の習得のためのDX推進人材育成支援を実施
- ③専門家やアドバイザー伴走支援等によるDX実践の好事例を創出し、地域内の他企業での導入拡大を図るため、実践的DX導入支援を実施

導入促進

自社人材育成

実践・導入拡大



(2)農業のDX普及推進

現状

○研修会の開催等により、データ駆動型農業の有効性が認識され、導入を目指す産地が増加
→先進地域としてデータ駆動型農業の更なる普及促進が必要



R8

○普及に向けて

→データ駆動型農業による産地づくりの取組事例や最新のスマート農業技術の情報共有が必要

○新規に取り組む産地に向けて

→個別具体的な技術指導等が必要



【具体的な事業内容】

- ①環境モニタリング機器を活用した園芸施設でのデータの蓄積・分析と栽培等への活用
- ②施設園芸におけるデータ駆動型農業の普及啓発に向けた研修会・現地指導を実施
- ③産地が円滑に導入できるよう各課題に特化した研修会・指導を実施



研修会の様子

流域の生産性向上